

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	洗足こども短期大学
設置者名	学校法人洗足学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	幼児教育保育科	夜・通信			20	20	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://kodomu.senzoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/06/jitsumu.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	洗足こども短期大学
設置者名	学校法人洗足学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学園 HP にて公表 https://www.senzoku.jp/new/pdf/yakuin.pdf
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2023年4月1日～ 2025年3月31日	地域連携
非常勤	幼稚園長	2023年10月1日～ 2025年9月30日	社会連携
非常勤		2024年4月1日～ 2026年3月31日	大学運営に関する 助言・指導
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	洗足こども短期大学
設置者名	学校法人洗足学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)は、授業科目の担当教員が「シラバス作成要領」に従い作成している。 ・公表時期については、在学生には3月中旬頃「SENZOKUポータル」にて公表している。また、7月初旬には洗足こども短期大学の「ホームページ教育情報」にて広く公表している。 	
授業計画書の公表方法	https://kodomo.senzoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/06/syllabus.pdf
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「洗足こども短期大学成績の評価基準(規程)」を策定し、厳格かつ適正に評価して単位を与え、履修を認定している。 	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「洗足こども短期大学成績の評価基準」を策定し、それに基づきGPAを設定し履修要項に公表するとともに、成績の分布状況の把握をしている。 ・GPAは、卒業に必要な単位として算入することのできる授業科目の成績評価のうち、Sに4.0、Aに3.0、Bに2.0、Cに1.0、D・E・Fに0をそれぞれ評価点として与え、各授業科目の評価点にその単位数を乗じて得た積の合計を、卒業に必要な単位として算入することのできる授業科目の総履修登録単位数で除して算出する。 <p>GPA = (履修科目の単位数 × 科目のグレードポイント) の合計 / 履修登録単数の合計</p> <p>GPAの実施：有</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://kodomo.senzoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/06/rishuuyoukou.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗足こども短期大学卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定め、公表し、適切に実施している。 ・本学の教育理念、教育目的に基づく教育課程の学修により、卒業に必要な所定の単位を修得し、以下に示す要件を身につけた学生に対し、社会で活躍できる「実践力」、「表現力」、「協働力」を備えたものとして、短期大学士（幼児教育保育）の学位を授与する。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 【保育者としての自覚】 豊かな人間性を備え、保育者としての自覚と責任感を有している。 (2) 【専門的知識および技術】 幼児教育保育に関する専門的知識と技術を修得している。 (3) 【創造的な表現力および展開力】 創造的な表現力を身に付け、保育活動を豊かに展開する力を備えている。 (4) 【柔軟な保育実践力】 幼児教育保育の多様なニーズに対応できる実践力を備えている。 (5) 【社会性および協働意識】 社会人および保育者として必要なコミュニケーション力を有し、他者と協力して仕事を遂行することができる。 (6) 【倫理観と地域貢献への意欲】 高い倫理観に基づき、自身の専門性を活かし地域社会に貢献しようとする意欲を有している。 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://kodomo.senzoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/06/policy_diploma.pdf</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	洗足こども短期大学
設置者名	学校法人洗足学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.senzoku.jp/new/finance.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.senzoku.jp/new/finance.html
財産目録	https://www.senzoku.jp/new/finance.html
事業報告書	https://www.senzoku.jp/new/finance.html
監事による監査報告(書)	https://www.senzoku.jp/new/finance.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称: 2020年度~2024年度中期計画【概要版】)	
対象年度: 2020年度~2024年度)	
公表方法: https://www.senzoku.jp/new/pdf/SENZOKU_Medium-termPlan2020-2024.pdf	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:
https://kodomo.senzoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/10/2022_jikotenken.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:
https://kodomo.senzoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/04/2021_kikanbetsuhyouka.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 幼児教育保育科
教育研究上の目的（公表方法：HP で公表） https://kodomo.senzoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/06/purpose.pdf
（概要） 学則第 1 章第 2 条第 2 項に「人材養成・教育研究上の目的」を定め、HP で公表している。 幼児教育保育科は、専門分野の知識・技術を修得するとともに、豊かな人間性と実行力を備え、自立した人間として職業又は实际生活に必要な能力を有する人材を育成し、もって社会の発展に寄与することを目的とし、次の各号にかかげる事項を教育目標とする。 (1) 幼児教育・保育に関しての幅広い専門知識と実践力を備え、保育者としての責任感及び自覚を持った人材を養成すること。 (2) 創造的な表現力、コミュニケーション能力、社会性を備えた豊かな人間性を涵養すること。 (3) 幼児教育・保育を担う人材の育成及び教育研究については、その成果を提供することによる地域社会への貢献を視野に入れ取り組むこと。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：HP で公表） https://kodomo.senzoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/06/policy_diploma.pdf
（概要） 「洗足こども短期大学卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）」を定め、HP で公表している。 本学の教育理念、教育目的に基づく教育課程の学修により、卒業に必要な所定の単位を修得し、以下に示す要件を身につけた学生に対し、社会で活躍できる「実践力」、「表現力」、「協働力」を備えたものとして、短期大学士（幼児教育保育）の学位を授与する。 (1) 【保育者としての自覚】 豊かな人間性を備え、保育者としての自覚と責任感を有している。 (2) 【専門的知識および技術】 幼児教育保育に関する専門的知識と技術を修得している。 (3) 【創造的な表現力および展開力】 創造的な表現力を身に付け、保育活動を豊かに展開する力を備えている。 (4) 【柔軟な保育実践力】 幼児教育保育の多様なニーズに対応できる実践力を備えている。 (5) 【社会性および協働意識】 社会人および保育者として必要なコミュニケーション力を有し、他者と協力して仕事を遂行することができる。 (6) 【倫理観と地域貢献への意欲】 高い倫理観に基づき、自身の専門性を活かし地域社会に貢献しようとする意欲を有している。

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：HP で公表） https://kodomo.senzoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/06/policy_curriculum.pdf</p>
<p>（概要） 洗足こども短期大学教育課程編成・実施の方法（カリキュラムポリシー）」を定め、HP で公表している。</p> <p>【カリキュラム編成の方針】 入学から卒業までの 2 年間の教育課程において、基礎的及び専門的知識・技術を段階的に修得できるように講義・演習・実習を有機的に配置し、以下の方針でカリキュラムを編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> （1）豊かな教養と保育の専門的な知識・技術を身に付けることのできるカリキュラム （2）幼稚園教諭二種免許、保育士資格を取得できるカリキュラム （3）創造的な表現力、コミュニケーション力の向上が図られるカリキュラム <p>【教育内容・方法の方針】 学修過程については、洗足こども短期大学の実践標語である「理想は高遠に、実行は卑近に」に基づき、学生が高い意欲のもと真摯に努力することができるよう全科目をカリキュラムマップとして提示し、主体的な学びへの一助とする。</p> <p>学修の内容・方法については以下の点に配慮をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> （1）保育に必要な表現力とコミュニケーション能力の向上を重視し、その実現を図るために、学校行事、音楽検定及び実習と各授業科目との関連性に配慮する。 （2）保育者としての責任を自覚し、保育実践を自ら反省し改善していく自己研鑽力の向上が図られるよう配慮する。
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：入試要項及び HP で公表） https://kodomo.senzoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/06/policy_admissions.pdf</p>
<p>（概要） 本学は、建学の精神に基づき、豊かな人間性と実行力を備えた保育者を養成しています。専門的知識と技術の修得に必要な基礎学力を備え、保育者になるという夢の実現に向けて強い意志を持って努力できる人を求めています。具体的に求める人物像は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> （1）保育者として社会に出て自立して活動することを目指し、そのために必要な教養と専門性、柔軟な思考力と的確な判断力を身につけるための熱意と向上心があり、主体的に努力することができる人。 （2）自分の意見を発信することができる一方で異なる多様な意見も尊重し、他者と明朗活発にコミュニケーションを図りながら協力して授業や行事に取り組むことができる人。 （3）子どもと子どもを取り巻く社会や文化に関心を持ち、自らの問題意識に基づいて積極的に探求を行い、読む・書く・聴く・話す力、および創造的な表現力を主体的に身につけることができる人。 （4）保育者としての自覚と責任感を持つことを意識し、多様な環境に順応できるように努め、心身の健康管理に留意できる人。

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：HP で公表 https://kodomo.senzoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/06/kyoin_soshiki.pdf</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
幼児教育保育科	—	7人	5人	2人	3人	0人	17人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			69人				69人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://kodomozensoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/06/kyoin_kobetsu.pdf https://kodomozensoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/06/kyoin_gyoseki.pdf					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
幼児教育保育科	250人	180人	72.0%	500人	374人	74.8%	0人	0人
合計	250人	180人	72.0%	500人	374人	74.8%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
幼児教育保育科	249人 (100%)	5人 (2.0%)	238人 (95.6%)	6人 (2.4%)
合計	249人 (100%)	5人 (2.0%)	238人 (95.6%)	6人 (2.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
進学先：4年制の大学 / 就職先：幼稚園・保育園				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
幼児教育保育科	268人 (100%)	247人 (92.2%)	6人 (2.24%)	13人 (4.85%)	2人 (0.75%)
合計	268人 (100%)	247人 (92.2%)	6人 (2.24%)	13人 (4.85%)	2人 (0.75%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）は、授業科目の担当教員が「シラバス作成要領」に従い作成している。 ・公表時期については、在学生には3月中旬頃「洗足ポータル」にて公表している。また、7月初旬には洗足こども短期大学の「ホームページ教育情報」にて広く公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗足こども短期大学成績の評価基準（規程）を策定し、厳格かつ適正に評価して単位を与え、履修を認定している。 ・洗足こども短期大学卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定め、公表し、適切に実施している。 ・本学の教育理念、教育目的に基づく教育課程の学修により、卒業に必要な所定の単位を修得し、以下に示す要件を身につけた学生に対し、社会で活躍できる「実践力」、「表現力」、「協働力」を備えたものとして、短期大学士（幼児教育保育）の学位を授与する。 <p>(1) 【保育者としての自覚】 豊かな人間性を備え、保育者としての自覚と責任感を有している。</p> <p>(2) 【専門的知識および技術】 幼児教育保育に関する専門的知識と技術を修得している。</p> <p>(3) 【創造的な表現力および展開力】 創造的な表現力を身に付け、保育活動を豊かに展開する力を備えている。</p> <p>(4) 【柔軟な保育実践力】 幼児教育保育の多様なニーズに対応できる実践力を備えている。</p> <p>(5) 【社会性および協働意識】 社会人および保育者として必要なコミュニケーション力を有し、他者と協力して仕事を遂行することができる。</p> <p>(6) 【倫理観と地域貢献への意欲】 高い倫理観に基づき、自身の専門性を活かし地域社会に貢献しようとする意欲を有している。</p>				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	幼児教育保育科	62単位	○・無	48単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：大学ポータル https://up-i.shigaku.go.jp/school/category02/00000000320402000.html		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：HP で公表

<https://kodomo.senzoku.ac.jp/campus/campusmap/>

<https://kodomo.senzoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/06/shisetsu.pdf>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	幼児教育保育科	648,500 円	350,000 円	337,500 円	施設費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

クラスアドバイザー制度を導入しており、各クラスにアドバイザーを配置、修学上の相談窓口となっています。毎年5月初旬に面談を実施し、学生生活上の悩みを含め様々な相談に対する助言を行っています。また、実習における相談等については、実習・進路サポート室を設置しており、実習指導担当教員と短大事務職員が連携を図り学生のサポートにあたっています。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

キャリア教育は、1年次から始まり、保育者のキャリアの理解、多様な活躍ができる現場の紹介、公務員試験など、幅広い視点で選択肢を理解した上で、一人一人にあった就職活動の支援をスタートさせていきます。2年次には、授業や実習に専念しながら、無理なく就職活動が行えるよう、幼稚園・保育園等を学内に招いて就職フェアを行い、一度に良質な法人に多く出会うことのできる機会を設けています。さらには、本学独自のオンラインシステムをIT企業と協同で開発しています。マップ上で検索できる学生専用サイトには、お気に入り機能（ブックマーク）を活用することで、園からの最新の求人情報が通知され、24時間、どこからでもアクセスすることができます。また、公務員希望者には、外部講師を招き、2年次前期に公務員試験対策セミナーを計8回程度開催しています。また内定後は、就職に向けての不安を取り除くために「卒業後のキャリア形成（講義）」を実施しています。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

学生の心身健康への対応として、大学内に健康管理センターを設置しています。健康管理センターには、看護師2名が対応する「保健室」及び公認心理師3名が対応する「学生相談室」があり、保健室では、学生の怪我の処置、体調不良時の看護、及び健康相談にも応じています。保健室で対処できない場合は、学校医・近隣の病院を紹介しています。一方、学生相談室では、主に精神的なケアを必要とする学生の対応をしています。そして、定期的に精神科医を招いた定例会議を行い、個々の学生に対するアドバイスを仰ぐ一方、専門医の診察が必要と判断される場合には、適宜病院の紹介を行っています。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：HP で公表 <https://kodomo.senzoku.ac.jp/outline/finance/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F214310104999
学校名 (〇〇大学 等)	洗足こども短期大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人洗足学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		38人	41人	42人
内 訳	第Ⅰ区分	23人	24人	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				42人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	-
計	人	0人	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	-	-
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	-	-
計	人	-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。